

科目	子育て臨床心理学	単位数	2
担当教員	谷向 みつえ		
履修対象	臨床心理学科2年春学期		
目的	子どもの情動や社会性、知的な発達は、生まれる前あるいは生まれた時から日々積み重ねられていく養育者を中心とした人との関係性(主に親子関係)を基盤とします。本講義では子どもの心の健康な発達を保障していく親の役割を段階に沿って理解します。また社会的な問題となっている育児困難、虐待の事例の原因や対応、予防について心理臨床現場の実際から学びます。親子が共に悩み育つ過程を支援できるような臨床心理学的なアプローチについての知見を深めます。		
達成目標	「関心・意欲・態度」 (1)子どもが育つ環境としての「子育て」に興味や関心を持つようになる。 「思考・判断」 (1)関係性という視点から親子関係や子どもの発達、その病理について考えられるようになる。 「知識・理解」 (1)生涯発達の視点から子どもや親の「育ち」とその病理について理解を深める。 (2)親子の関係性に焦点をあてた心理臨床プログラムについて理解を深める。		
授業計画			
1	子育て臨床心理学とは／子どもが育つ環境と人格形成について考える		
2	現代の親・子育て①／父親・母親の子育て意識、かかわり行動の特徴		
3	現代の親・子育て②／子育ては普遍的なものか		
4	父親・母親 親性の発達／「親になる」「親として育つ」生涯発達心理学の中での位置づけ		
5	子育て中の母親の心理／”ふつう”のお母さんのインタビュー事例から		
6	子育て中の母親の精神病理／育児不安や産後うつとの理解と子どもの発達への影響		
7	子どもの心理臨床①／親子関係と子どもの不適応		
8	子どもの心理臨床②／児童虐待やDVの子どもへの影響		
9	関係性の発達と臨床①／アタッチメントの発達と関係性障害		
10	関係性の発達と臨床②／児童福祉施設における愛着障害の事例		
11	子育て支援と心理臨床①／さまざまな子育て支援の現場と実践		
12	子育て支援の心理臨床②／さまざまな親支援プログラム		
13	子育て支援の心理臨床③／ペアレントトレーニング		
14	子育て支援の心理臨床⑤／アタッチメントを応用した親支援プログラム		
15	まとめ／次世代を担う子どもを育てていく視点に立つて		
授業形態	講義形式		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
参考書	「子どもの人格発達の障害」 齊藤万比古・笠原麻里編集/ 中山書店 「アタッチメントを応用した養育者と子どもの臨床」 D.Oppenheim他編/数井みゆき他訳/ ミネルヴァ書房 「看護のための乳幼児精神保健入門」 廣瀬たい子編著/ 金剛出版		
評価方法	授業コメント、レポート、試験で評価します。		
留意点	講義内容をしっかりと理解したうえで、それを手掛かりに”自分で考えること”を求めます。		
準備学習	参考書や授業中に紹介した関連図書を読んでください。		
備考		No.	PY621002